



2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 株式会社オークファン 上場取引所 東
 コード番号 3674 URL <https://aucfan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武永 修一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 山田 圭祐 TEL 03(6809)0951
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績（2020年10月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	2,963	88.4	1,224	—	1,215	—	918	—
2020年9月期第1四半期	1,573	△4.9	62	△77.2	60	△77.5	11	△93.6

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 △1,290百万円 (—%) 2020年9月期第1四半期 △13百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	89.00	84.40
2020年9月期第1四半期	1.10	1.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	10,764	6,825	63.3
2020年9月期	13,382	8,115	60.5

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 6,812百万円 2020年9月期 8,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,900	38.4	1,300	58.4	1,250	54.5	800	86.6	77.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 一、 除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年9月期1Q	10,539,400株	2020年9月期	10,539,400株
② 期末自己株式数	2021年9月期1Q	216,966株	2020年9月期	216,933株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年9月期1Q	10,322,457株	2020年9月期1Q	10,252,549株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信開示後速やかにTDnet及び当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、近年SDGs(※1)に始まり、世界中で大きくクローズアップされている廃棄ロス問題(※2)に対して正面から向き合い解決すべく「RE-INFRA COMPANY」と自身を再定義しました。

※1 Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)。2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき目標

※2 日本では年間約22兆円(平成28年度法人企業統計(財務省)などを基に当社試算)の商品が、そして世界では年間100兆円の商品が廃棄されております。

「RE」とは、すでにあるものを捉え直し、より良く組み替え、再構成するという意味を含んでおり、当社グループは「RE」に関する様々な機能を繋げ統合することで、モノとそれに関わるヒトの価値を、再配分・最適配分し、廃棄ロスという深刻な社会問題を解決することに挑んでおり、祖業であるネットオークション・ショッピングの価格比較メディア『aucfan.com(オークファンドットコム)』の運営、BtoBの卸プラットフォーム『NETSEA(ネッシー)』、EC一括運営効率化ツール『タテンポガイド』、寄付型ショッピングサイト『Otameshi(オタメシ)』などを運営することにより、廃棄ロス問題の解決へ向けた取り組み・事業拡大を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,963,675千円(前年同四半期比88.4%増)、営業利益は1,224,305千円(前年同四半期比1,860.0%増)、経常利益は1,215,172千円(前年同四半期比1,896.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は918,689千円(前年同四半期比8,050.2%増)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(在庫価値ソリューション事業)

当セグメントは、データを基にAI技術を活用し在庫の価値を可視化することにより、企業が保有する在庫に関する課題を特定し販売価格・品揃えを最適化することができ、主として小売業の経営課題を解決する『zaicoban(ざいこばん)』の提供、当社連結子会社である株式会社スマートソーシングがEC販売支援サービスとして運用し、複数のECショップへの同時出品・在庫連動等の一元管理を可能とする『タテンポガイド』の提供による有料課金収入及びシステムカスタマイズ導入の提供を行っています。また、当社自社メディアである『aucfan.com』を運営することにより、各ECサイトより取得した商品情報及び価格情報を整理統合し、分析・解析することにより主として商品販売時の売り手にとって特に有益な情報を提供しております。当第1四半期連結累計期間においては、引き続き広告宣伝費の投下により各ソリューションの集客・拡販等を行うとともに、人材採用等を強化した結果、売上高472,192千円(前年同期比8.5%減)、営業利益98,667千円(前年同期比15.7%減)となりました。

(商品流通プラットフォーム事業)

当セグメントは、当社連結子会社である株式会社SynaBizが運営するBtoB卸モール『NETSEA』、滞留在庫・返品・型落ち品などの流動化支援を行う『リバリューBtoBモール』及びBtoCの寄付型ショッピングサイト『Otameshi(オタメシ)』を主たる事業として、有料課金収入、流通手数料及び商品販売収入を主たる収益源としております。また、当社が運営する主に副業・複業として物販ビジネスを行なう事業主を対象とするスクール形式サービス『オークファンスクール』も展開しております。

『NETSEA』及び『Otameshi』を中心として、流通量・利用者の増加が引き続き好調に推移した結果、売上高1,231,165千円(前年同期比16.0%増)、営業利益62,950千円(前年同期比96.0%増)となりました。

(インキュベーション事業)

当セグメントは、事業投資活動を通じて、当社が中長期に亘り競合優位性を構築・維持していくための知見とネットワークを得ることを目的とした事業セグメントであります。

営業投資有価証券の売却及び、投資先企業へのコンサルティング等を実施しており、当第1四半期連結会計期間には前期に引き続き大型の営業投資有価証券の一部売却を行いました。

これらの結果、売上高1,297,817千円(前年同期比4,794.6%増)、営業利益1,151,941千円(前年同期比38,744.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

①資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、10,764,247千円(前連結会計年度末は13,382,944千円)となりました。

流動資産は、9,560,042千円(前連結会計年度末は12,169,900千円)となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金が1,055,958千円増加、商品が204,950千円増加、営業投資有価証券が3,245,981千円減少、受取手形及び売掛金が761,235千円減少した結果であります。

固定資産は、1,204,204千円(前連結会計年度末は1,213,044千円)となりました。主な要因といたしましては、ソフトウェア仮勘定が28,640千円増加、ソフトウェアが4,277千円増加、繰延税金資産が22,670千円減少、のれんが8,893千円減少した結果であります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、3,939,156千円(前連結会計年度末は5,267,303千円)となりました。

流動負債は、2,578,368千円(前連結会計年度末2,877,441千円)となりました。主な要因といたしましては、未払金が67,536千円増加、その他(流動負債)が56,240千円増加、未払法人税等が129,172千円減少、買掛金が226,489千円減少、短期借入金が50,001千円減少した結果であります。

固定負債は、1,360,788千円(前連結会計年度末は2,389,861千円)となりました。主な要因といたしましては、繰延税金負債が955,297千円減少、長期借入金が73,327千円減少した結果であります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、6,825,090千円(前連結会計年度末は8,115,641千円)となりました。主な要因といたしましては、利益剰余金が918,689千円増加、その他有価証券評価差額金2,208,645千円減少した結果であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の連結業績予想については、2020年11月13日に公表した業績予想に変更はございません。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において、新型コロナウイルス感染症による経済への影響を含む、入手可能な事実情報、及び現時点で判明している当社業績への直接的影響に基づき作成しております。今後の状況や市場環境の変化によって当社業績への影響の範囲が大きく変動等した場合、その時点での合理的な算出により業績予想に変更が生じる場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,704,994	3,760,952
受取手形及び売掛金	1,529,069	767,833
営業投資有価証券	7,292,436	4,046,454
商品	261,439	466,389
仕掛品	314	67
貯蔵品	536	511
未収入金	203,662	173,999
その他	210,806	374,070
貸倒引当金	△33,359	△30,238
流動資産合計	12,169,900	9,560,042
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	50,358	48,529
工具、器具及び備品(純額)	27,774	25,313
その他(純額)	6,041	5,661
有形固定資産合計	84,173	79,504
無形固定資産		
のれん	276,154	267,260
ソフトウェア	465,271	469,548
ソフトウェア仮勘定	19,740	48,380
その他	1,810	1,735
無形固定資産合計	762,976	786,925
投資その他の資産		
長期貸付金	44,175	41,524
繰延税金資産	163,619	140,949
その他	158,099	155,302
投資その他の資産合計	365,894	337,775
固定資産合計	1,213,044	1,204,204
資産合計	13,382,944	10,764,247

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	404,799	178,309
短期借入金	1,133,332	1,083,331
1年内返済予定の長期借入金	337,108	319,976
未払法人税等	396,748	267,575
未払金	405,191	472,728
ポイント引当金	1,065	1,010
その他	199,196	255,437
流動負債合計	2,877,441	2,578,368
固定負債		
長期借入金	698,409	625,082
繰延税金負債	1,685,454	730,157
その他	5,997	5,548
固定負債合計	2,389,861	1,360,788
負債合計	5,267,303	3,939,156
純資産の部		
株主資本		
資本金	884,082	884,082
資本剰余金	854,922	854,922
利益剰余金	2,156,591	3,075,280
自己株式	△203,171	△203,326
株主資本合計	3,692,425	4,610,959
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,410,224	2,201,579
その他の包括利益累計額合計	4,410,224	2,201,579
新株予約権	6,968	6,968
非支配株主持分	6,023	5,582
純資産合計	8,115,641	6,825,090
負債純資産合計	13,382,944	10,764,247

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	1,573,243	2,963,675
売上原価	910,125	1,079,078
売上総利益	663,117	1,884,597
販売費及び一般管理費	600,652	660,291
営業利益	62,464	1,224,305
営業外収益		
受取利息	309	196
助成金収入	332	—
その他	1,080	670
営業外収益合計	1,722	866
営業外費用		
支払利息	2,065	2,709
控除対象外消費税等	211	6,828
その他	1,035	461
営業外費用合計	3,312	9,999
経常利益	60,874	1,215,172
特別利益		
子会社株式売却益	—	34,685
特別利益合計	—	34,685
特別損失		
賃貸借契約解約損	14,699	—
その他	0	0
特別損失合計	14,699	0
税金等調整前四半期純利益	46,175	1,249,857
法人税、住民税及び事業税	7,452	291,510
法人税等調整額	26,625	40,097
法人税等合計	34,077	331,608
四半期純利益	12,097	918,248
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,272	918,689
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	825	△440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,283	△2,208,645
その他の包括利益合計	△25,283	△2,208,645
四半期包括利益	△13,185	△1,290,396
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△14,011	△1,289,955
非支配株主に係る四半期包括利益	825	△440

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	在庫価値 ソリューション	商品流通 プラットフォーム	インキュ ベーション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	486,744	1,059,983	26,515	1,573,243	—	1,573,243
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29,227	1,627	—	30,854	△30,854	—
計	515,972	1,061,610	26,515	1,604,097	△30,854	1,573,243
セグメント利益	117,049	32,121	2,965	152,136	△89,671	62,464

(注)1. セグメント利益の調整額△89,671千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	在庫価値 ソリューション	商品流通 プラットフォーム	インキュ ベーション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	435,105	1,230,752	1,297,817	2,963,675	—	2,963,675
セグメント間の内部 売上高又は振替高	37,087	413	—	37,500	△37,500	—
計	472,192	1,231,165	1,297,817	3,001,176	△37,500	2,963,675
セグメント利益	98,667	62,950	1,151,941	1,313,559	△89,253	1,224,305

(注)1. セグメント利益の調整額△89,253千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結会計期間より、「インキュベーション」セグメントにおいて、株式会社承知しましたの全株式を取得し子会社化したしました。当該事象によるのれんの増加額は19,890千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの業績をより適切に反映させるため、各報告セグメントの費用の配賦方法を変更しております。

当該変更に伴い、従来の方法に比べて、「インキュベーション」のセグメント利益が14,529千円減少し、「調整額」のセグメント利益が14,529千円増加しております。